

合併検討会情報

平成21年度 第3回委員会を開催



県西地域の2市8町の首長による県西地域合併検討会平成21年度第3回委員会(以下、「委員会」)が3月25日(木)に県小田原合同庁舎で行われ、3年間にわたる検討結果を踏まえた、「県西地域における市町合併の方向性」が示されました。



企画政策課
☎84-0312

神奈川県西部広域行政協議会を設立

企画政策課 ☎84-0312

基礎自治体を取り巻く諸状況の変化への的確な対応や高度化する広域的課題の確かな解決策について、共同して調査及び研究をするとともに、将来の地域の一体化を志向した取組を推進することを目的として、既存の広域連携組織である県西地域広域市町村圏協議会(県西地域2市8町で構成)、西さがみ連邦共和国(小田原市、足柄下郡3町)、あしがら広域圏ネットワーク(小田原市、南足柄市、足柄上郡5町)の3組織を統合し、県西地域の2市8町で構成する神奈川県西部広域行政協議会(以下「協議会」)を4月1日に設立しました。

常設部会

あり、構成市町の一部又は全部の市町長や副市町長、職員のほか、必要に応じ各市町協議会議員、県職員、学識経験者等が部会員となります。当面は、消防の広域化や地域医療体制などに係る検討を進める予定です。

常設部会

構成市町の将来の一体化に資するソフト事業の企画および実施を行う機関であり、構成市町の事業所管課長等の職員が部会員となります。広報、職員研修、防災、環境、都市交通の5部会を設置します。

協議会事務局

協議会の運営管理を行う機関であり、構成市町の広域行政所管課長等が事務局員となります。

協議会

協議会としての意思決定を行う機関であり、会長である小田原市長を始め、構成市町の長および足柄上・西湘の各地域県政総合センター所長が委員となります。

特定課題検討部会

協議会において特に高次の検討が必要と認める広域的課題について、調査および検討を行う機関で

県西地域における市町合併の方向性

平成19年2月の設置以来、県西地域合併検討会では、3年間にわたり県西地域2市8町における市町合併について、さまざまな角度から検討を進めてきた結果、その方向性について次のとおりとすることになりました。

市町合併に対する認識について

2市8町に暮らす住民の皆さんが、安心して暮らし続けられる地域を実現するうえで、また、この地域が有する豊かな資源や潜在力を最大限に発揮し、活力あふれる地域としていくためには、合併などの手段によって地域の一体化を図っていく必要があるという認識は、全ての市町で共有しました。

任意合併協議会の設立について

現時点における各市町の住民の皆さんの合併に対する意識や、当面のまちづくりに係る方針などを勘案すれば、2

市8町が足並みを揃えて、直ちに市町合併に向けた任意合併協議会を設立することは、難しいと判断せざるを得ませんでした。

2市8町による合併検討の終息について

2市8町が揃った合併検討については、平成21年度末をもって一区切りとし一旦終息させることとします。今後は、この3年間の検討の成果を踏まえつつ、国や県の合併に対する今後の支援の考え方や、住民の皆さんの生活圏や市町合併に対する意識などを斟酌しながら、各市町それぞれが主体的に判断していくことといたしました。

将来の一体化に向けた取組について

2市8町では、これまでも強固な連携のもとで、様々な分野における具体の取組を進めてきたところであり、県西地域の将来の一体化に向けては、これをさらに深めていくことが必須であるとの考えから、既存の連携組織である県西地域広域市町村圏協議会、西さがみ連邦共和国、あしが

ら広域圏ネットワークを統合して、新たに(仮称)神奈川県西部広域行政協議会を設立することとし、2市8町の広域連携を一層強化してまいります。

委員会での開成町長コメント

これまでの議論で2市8町の枠組にこだわってきたのは、この地域が現在の沈滞状態から反転攻勢するには経済力が必要であり、それには「箱根を中心とした観光」「企業誘致のための2つのインターチェンジの確保」「水源地の発言力」が欠かせないと考えたからです。

残念ながら合併の熟度は整っていない以上、当面は広域連携を積み上げ、広域のビジョンをまとめ、次のステージに向かうことになると考えます。今回の検討で一定の土俵はできたので、今後は小田原市とともに広域連携を進めてまいります。

※委員会の概要や配布資料は、県西地域合併検討会ホームページをご覧ください。
http://www.city.odawara-akanagawa.jp/gappei/

あじさい祭のプレイベントとして 全国植樹祭サテライトイベントを実施します!

5月23日(日)に、第61回全国植樹祭が南足柄市と秦野市をメイン会場として開催されます。これに伴い開成町でも中家村公園にサテライト会場を設置することになりました。「開成町は山も森もない町なのになぜ植樹祭を?」と思われる方も多いと思います。しかし、開成町にはあじさいを始めとする緑があふれ、それを維持するには欠かせない豊かな清流が町内を縦横に走っています。そして、その環境を理解し大切に住民の皆さんがいます。山や森がなくても開催するのに十分な条件は揃っています。

奈川にかえってきた植樹祭。メイン会場である両市のイベントには、事前の抽選で当選した方(確定済)などの限られた方しか参加することができませんが、同日に開催する開成町サテライト会場では特段の参加制限はありません。町内外を問わず多くの方のお越しをお待ちしています。

当日は、開成小学校・開成南小学校の子どもたち共同での植樹や緑のコンサート(*2)、上位入賞者には賞品が用意されている丸太切り大会、ガーデニング教室、大道芸等々盛りだくさんです。(詳細は同時配布のチラシをご覧ください)他にも、「教育のまち開成」らしい未来を担う子どもたちの記憶に残るようなイベントを、たくさん企画していますのでお楽しみに。

全国植樹祭の起源は、昭和24年に箱根町の仙石原で昭和天皇皇后両陛下に御臨席を賜り開催され「愛林日植樹行事」とされています(*1)。61年ぶりに縁深い神

開催日時: 5月23日(日) 10:30~
開催場所: 中家村公園

- *1: 第1回の全国植樹祭(当時は「植樹行事並びに国土緑化大会」)は翌年の昭和25年に山梨県で開催されました。
- *2: 子どもたちによる大会テーマソング(シンガーソングライターの白井貴子さん作詞作曲)の合唱や開成水神雷太鼓の演奏、「ステップ・イン・コカリナ」によるコカリナコンサート(昨年の全国植樹祭で皇后陛下が地元の木でつくられた「木のオカリナ」を首からお下げになって式典に出席されたというエピソードのある)など。



(コカリナ)

第61回 平成22年5月23日(日)開催!
全国植樹祭2010
 大会テーマ: 森が育む あなたの心 森を育む あなたの手
 かなりんちゃん

産業振興課 84-0317